

令和6年度柴田町協働教育推進事業
(学校・家庭・地域連携協力推進事業)計画書

実施する事業の活動

① 評価・検証委員会

【事業内容】

事業の評価・検証を行う委員会の設置と実施。

事業の評価・検証は柴田町社会教育委員会議に諮問し、会議は年3回開催。

【開催時期】

第1回 令和6年 5月24日…事業説明、目標設定の確認

第2回 令和6年10月 日…事業中間報告、活動の視察

第3回 令和7年 3月 日…事業実績報告、検証、評価

② 地域学校協働活動(学校支援活動)

【課題解決に向けての課題、目標及び施策】

【課題】

学校においては、教育活動が専門的かつ多種多様にわたるため、教員だけではきめ細かい指導が困難な現状にあり、充実した教育活動が推進できない。さらに、子どもの家庭環境も複雑で、地域との関わりの希薄化や、地域コミュニティの不足により社会性を育てる機会が減少していることから、地域人材を活用し、地域と学校の協働による教育活動が必要となっている。

【目標】

学校教育の中に地域人材を活用し、さまざまな学習や体験を提供することで、充実した教育活動を展開し、開かれた学校づくりを目指す。また、地域と学校をつなぐ役割をコーディネーターが担い、教員の負担軽減や地域住民の生きがい・やりがいづくり、地域コミュニティの活性化、地域社会全体の教育力の向上を図る。

【施策】

- ①「しばたっ子応援団」(学校支援ボランティア)の派遣
- ②キャリア教育支援の充実(職場体験学習受け入れ先企業のコーディネート、「ビジネスマナー講座」の開催、キャリアセミナー「職業人の話を聞く会」の開催)
- ③柴田町協働教育推進委員会(地域学校協働本部)の開催
- ④しばたっ子応援団研修会の開催

【目標達成に向けての効果測定方策】

(1)学校支援活動に参加する地域住民等の意識醸成

・学校支援活動に関わる学校支援ボランティア(個人・団体・事業所)や学校の教員を対象に実施する「しばたっ子応援団研修会」実施後のアンケートで肯定的な回答90%以上を目指す。

(2)キャリア教育支援の充実

・職場体験学習及びキャリアセミナー「職業人の話を聞く会」実施後に関わった教員と事業所等に対するアンケートで、肯定的な回答85%以上を目指す。

③ 地域学校協働活動(家庭教育支援活動)

【課題解決に向けての課題、目標及び施策】

【課題】

核家族化の一層の進行や保護者の就労状況の変化により、家庭内コミュニケーションが減少し、地域との関わりも薄くなってきている。その結果、子育てに関する悩みを気軽に相談できない孤立した保護者が増えており、その解消のため、家庭教育に関する学びの場を提供する必要がある。

【目標】

子どもの発達段階に応じ、家庭教育に関心が高い保護者への支援はもとより、孤立しがちな保護者や学ぶ余裕がない保護者にも家庭教育に関する学習機会を提供し、親子の学びと育ちを支援する。また、包括的な家庭教育支援のため、父親への学習機会を提供する。

【施策】

- ①親の学び塾開設(子育て・親育ち講座、子育て・親育ち思春期講座、イクメン講座、親のみちしるべ出前講座の開催)
- ②家庭教育支援チーム研修会の開催
- ③子育て支援ネットワーク協議会における子育て関係機関・各種団体との連携・情報交換の強化

【目標達成に向けての効果測定方策】

(1)家庭教育支援チームの育成

・子育て・親育ち講座及び事前講座終了後にサポーターに対してアンケート調査を行い、肯定的な回答80%以上を目指す。

(2)親や保護者への子育てに対する不安解消

・「親のみちしるべ出前講座」及び「イクメン講座」受講後に参加者に対してアンケート調査を行い、子育てに関する肯定的な回答85%以上、「子育て・親育ち講座」については70%以上を目指す。

④ 地域学校協働活動(地域活動)

【課題解決に向けての課題、目標及び施策】

【課題】

地域コミュニティの機能が低下しているため、学校や家庭といった狭い範囲でしか活動しない子どもが増加している。さらに、人間関係が希薄になり、コミュニケーション能力や、さまざまな世代間交流を通して培われる豊かな創造性など、本来もっている能力が育ちにくい環境となっている。よって、住民の交流を活性化する事業を通して、地域全体を元気付けながら、地域ぐるみで子どもたちの成長を見守る仕組みづくりが求められる。

【目標】

子どもたちに異年齢とのつながりを持てる場を提供し、自主性や協調性、社会性、リーダーシップ等を伸張させ、豊かな人間性の育成を図る。また、地域住民との幅広い交流を通して、地域を元気にし、地域コミュニティの活性化及び地域貢献に寄与する。

【施策】

- ①ジュニア・リーダーの育成（各種研修会、自主企画、派遣依頼等）
- ②柴田町子どもフェスティバルの充実

【目標達成に向けての効果測定方策】

- (1) 地域で活躍するジュニア・リーダーの活動の充実と会員数の増加
 - ・ジュニア・リーダーの活動をPRし、中学生4人以上、高校生1人以上の新規会員の確保を目標とする。
 - ・ジュニア・リーダー派遣依頼者に対してアンケートを実施し、肯定的な回答75%以上を目標とする。
 - ・ジュニア・リーダーに対し、活動についてのアンケートを実施し、肯定的な回答80%以上を目標とする。
- (2) 地域全体で世代間交流ができるイベントの実施
 - ・子どもフェスティバルの来場者及び実施した子ども会に対しアンケート調査を実施し、肯定的な回答90%以上を目指す。